

令和元年度 野庭地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ **事業計画**

地域の現状と今後の方向性

＜地域の現状＞

・野庭町における高齢化率は36%に達し、認知症高齢者の増加による多種多様な問題が発生しています。
 ・相談対応では、対象者だけでなく、家族も含めた複雑な事情を抱えているような世帯全体の支援が増えてい
 ます。
 ・小さなコミュニティ(町会、マンション・団地のフロアーや階段単位等)での見守り・たすけあいができる仕組みが
 求められています。

＜今後の方向性＞

・総合相談対応の充実
 ・各種ネットワーク事業(見守りネットのば、見守り協力事業所、のば元気のちかみちネットワーク、団暖会ぽかぽ
 かハートネットワーク)の包括的な推進
 ・港南ひまわりプラン4年目の推進

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ 各関係機関と情報共有を行い、相談体制の充実化に努め(連携強化)、高齢担当以外の障害支援、生活
 支援、基幹相談支援センター等との情報共有にも力を入れていきます。
 ・カンファレンス、サービス担当者会議等に声掛け、適宜、電話連絡等
 ・障害者に関する65歳を迎える前の情報共有

■ 在宅生活をする上で、個人又は支援団体、関係機関が抱えている問題、ニーズを把握します。又、把握し
 たニーズを解決するために、区カンファレンス、所内、協議体等の検討の場を作ります。

■ 野庭地域の福祉保健団体、見守り支えあい活動を行っている町会等と見守りネットのば、野庭地域の見
 守り協力事業所等が野庭地域の課題を共有できる場を設定します。
 ・地域での支えあい研修会(協議体)を開催(年2回)

■ 野庭住宅、野庭団地、永野地区の支援チーム会議を定期開催し、情報共有する中で各々の役割分担を
 その都度明確にして、3地区の推進委員会及び意見交換会等の開催を通して、地域の方々第4期の港
 南ひまわりプラン策定を見据えていることを理解して、推進に取り組んでいけるよう支援します。

■ まず、本人が普段から利用している地域の社会資源を、介護予防プランに取り入れてもらうようにしてい
 く。→担当者会議等で本人から利用しているインフォーマルサービスを聞き取り、ケアプランに追加して
 らう。利用者が参加しているサロン等に、ケアマネジャーに見学してもらえよう調整していく。

◆ **事業報告・事業実績評価**

振り返り

＜今年度の取り組み＞

・総合相談の充実(各関係機関との連携・成年後見制度利用の支援、世帯全体の支援など)
 ・各種ネットワーク事業の推進(みまもり、地域活動支援、認知症の方・家族の支援など)
 ・港南ひまわりプランの推進(野庭住宅・野庭団地・永野地区の取り組み支援など)

野庭エリアはH26年からH30年の5年間で高齢化率が6%増加し(36%)、急速に高齢化が進んでいます。認知症高
 齢者の増加、単身・高齢者世帯の増加、引きこもり・障害者の方が抱える多種多様な問題に対応いたしました。
 今後も複雑化する問題に各種関係機関と連携し取り組んでまいります。

区からのコメント

各種事業を取り組む中で事業間のつながりやネットワークを意識して取り組んでいます。事業の中で困りごとを
 把握し、迅速適確に支援につなげ、関係機関とも円滑な連携が取れています。

活発に活動しているキャラバンメイト(NOBAメイトの会)と認知症サポーター養成講座を工夫して実施すること
 で、認知症の理解を広げていただいています。今後はより活動の場が広がるように区役所も連携していきます。

野庭地区は、高齢化が進み単身・高齢者世帯が増加しています。来年度も地域の皆さんに継続して介護予防
 に取り組んでいただけるよう、区としても積極的に関わってまいりますので、連携して取り組んでいきましょう。